

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

今回初めて、しなの福祉教育総研評価機関を受審し、たいへん当施設をご理解いただき評価していただいたと感じております。

介護方針「ゆっくり・いっしょ・わがまま」、また行動方針から、利用者の視点に立った介護の在り方を職員が共有し支援していること、職員としてあるべき姿を明示した行動方針の遵守を評価いただいたことは自信となり、さらなるサービスの質の向上に繋ぐことができます。また、新型コロナウイルス感染症の影響や介護人材不足の中でも、地域との関りや、職員の労働環境や処遇の改善について評価いただけたことも今後の人材育成や事業活動の展開にやりがいを感じました。

居心地の良い施設、労働者が働きやすいやりがいがある施設、地域から信頼される施設づくりのために必要である課題も頂きましたので努力していきます。

改善が必要な事項として2点あがりましたが、管理者として不足の部分と自覚しているところでもありました。今回、具体的な意見を頂き課題が明確となりました。

1) 経営面の把握と理解について、経営状況は現場職員へ伝え、共有すべき内容を明示し改善につけての仕組みづくりを整備していきます。

2) 災害時の対応の整備については、BCPの策定をすすめ、関係者、地域を巻き込みながら実際にBCPが活用できるよう訓練と検討を重ねます。